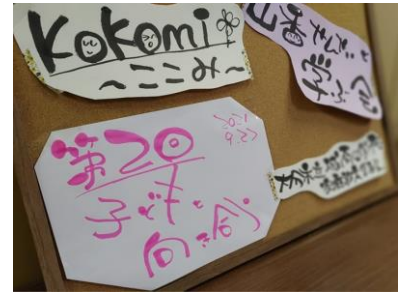


大分市立城南中 PTA 家庭教育学級 「Kokomi」に参加しました

1回目の「ほめる」に続いて2回目もお誘いいただきました。
今回は、参加された保護者のそれぞれの悩みについて、みんなでよりよい解決策を考えるために、「ブレインライティング」を取り入れました。

- ① 自分の悩みを最上段に書き、1行目の3列にそのためのアイデアを記入する
- ② グループ全員（今回は4人班）が、紙を左隣の人に回す
- ③ 1行目のアイデアを参考にして、2行目にアイデアを記入する（3分）
- ④ ②③を繰り返す
- ⑤ 自分の所に紙が戻ってきた時には、新たに12個のアイデアがもらえる



みなさん集中して、相手のお悩みについてのアイデアを考え中。とても沢山書いていたので、戻ってくるのが楽しみですね。



NO.307 2021年9月 大分市立城南中PTA家庭教育学級

共助

悩みはそれぞれあるけれど、みんなで知恵を出し合い、助け合うことで、思いもよらない解決策がうまれますね。

自分の一番の悩み	反抗期の子育て			記入例
自分が考えた 方策	あいさつ等 声かけをする	できたことを ほめる	ルールを一緒に 決める	
助言者① 方策に対する の考え	まずは、親から言う	「ご飯をたくさん食べてうれしい」等、当たり前のことでも「うれしい」という。	まずは、寝る時間等生活面で、できそうなことを決める。	
助言者② 方策に対する の考え	おはよう、おやすみ行ってらっしゃい、おかえりは必ず言う。	できたときにほめるだけでなく、「次は何をする」など、次の目標を聞く。	親も「本を読む」等の時間をつくる（家庭で、のーなし）	
助言者③ 方策に対する の考え	返事がなくても、笑顔で耐える返事があったときは、最高の笑顔で	※一番上の「できたときは、ほめる」の案が浮かばないときは、独自の助言でも良い親の思いを手紙に書く	達成したら、家族で焼き肉	
やること	皆さんのアイデアをもとに、ちょっとがんばってみようかな。と、思うことを書いてみましょう。			

参加された方々のふりかえりでは

「真剣に考えたのでとても頭を使いました。疲れたけど少しは役に立てたかも。楽しかったです」

「アイデアの中に、『見守りながらも、あえてほたる（放っておく）』とありました。私は少し干渉しすぎていると自分でも感じたのでやってみます。」等の声がありました。

また、「うちの子も同じですよ」「今朝、子どもとけんかしたけど、今こんなうれしい言葉をもらいましたよ」「目標が決まりスイッチが入ったら子どもはどんどん勉強するのよ」等の声を聞き安心した方も多かったです。

教育に正解はありません。だからこそ、ほめあい、認め合い、支え合う「共助」の気持ちが大切だと、私自身とても学ばせていただきました。ありがとうございました。また、参加したいなあ。